

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	自転車交通安全対策事業			事業番号	30-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	市民生活部	竹内 克則	市民協働課交通防犯対策担当	高梨 剛	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	1	安全で円滑な移動ができるまちをつくる	
		施策	30	移動しやすい交通環境対策の推進	
予算事業名	交通安全対策事務費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	-
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	第9次交通安全計画			計画期間	平成23年度～平成27年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	近年、自転車は、環境負荷の低い交通手段として見直され、健康志向の高まりを背景に、その利用ニーズが高まっている。その一方で、事故全数に比べ、自転車事故は増加し、特に歩道を無秩序に通行している自転車と歩行者の交通事故が急増している。				
目的 (何をどうしたいのか)	自転車は手軽な交通手段として、老若男女を問わず利用されているが、近年では交通ルールの理解不足やマナー違反などによる交通事故が多発し、社会問題にまで発展している。自転車は車両であるとの前提のもと、自転車交通安全対策を展開する。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び自転車利用者				
事業内容 (手段、手法など)	・自転車の関係する交通事故が多発していることから、自転車利用者の交通安全意識の高揚とマナーアップを図るため、関係機関と連携して交通安全教室の実施や街頭キャンペーンを実施します。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	自転車交通安全教室	7カ所開催	7カ所開催		
	自転車マナーアップキャンペーン	継続実施	継続実施		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	自転車交通安全教室の開催日数	9日	9日	10日	



事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	利用年齢に応じた交通安全教育を推進するとともに、駐輪場利用者への啓発、街頭啓発キャンペーン、市広報紙などの情報提供ツールの活用を通じて、積極的に交通ルール・マナー遵守の徹底を図る。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	自転車交通安全教室	10カ所開催	
	自転車マナーアップキャンペーン	継続実施	
実施した取組の内容	小・中学校、地域や事業所において、警察、交通関係団体等と連携して、交通安全教室を開催した。特に自転車による交通事故が増加傾向にあることから、自転車利用に特化した内容の「チリンスクール」を開催し、交通ルールやマナーの向上を図った。さらに、自転車利用者に対してマナーの向上と交通安全意識の高揚を図るため、自転車マナーアップキャンペーンを実施した。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	自転車交通安全教室の開催日数	9日	10日
			29年度

年度		28年度 実績				29年度 実績			
内訳	事業費合計 (a)	0	千円						千円
	国県支出金 ①	0	千円						千円
	地方債 ②	0	千円						千円
	その他特財 ③	0	千円						千円
	一般財源 (a)-①-②-③	0	千円					0	千円
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
人件費	正規職員		0.03	人	260	千円		人	千円
	その他の職員		0.01	人	24	千円		人	千円
	人件費合計 (b)		0.04	人	284	千円		人	千円
トータルコスト (a)+(b)				284	千円				千円
単位当たりコスト	対象数	定義	教室開催日数			単位		単位	
		対象数	10	日					
	総事業費 / 対象数	28,400	円					円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	・自転車の関係する交通事故件数は年々減少傾向にあるが、さらに減少させることを目指して、自転車の交通安全教室の実施やルール・マナーの向上を推進するための街頭啓発キャンペーンを実施した。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	・自転車交通安全教室等の開催日数や内容等については、各市独自の方法で実施されており、一律の比較はできない。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	・自転車は、手軽で便利な交通移動手段として利用されているが、一方で自転車が係わる交通事故は、全体の約2割を占めている。 ・交通安全教育や啓発キャンペーンなどを通して、交通ルールの周知やマナーアップを図ることができた。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	・警察や交通関係団体との連携により、効率的に事業展開をすることができた。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	自転車に係わる交通ルールは、その時代とともに変遷されることによる影響で、自転車利用者にルールが浸透しにくい状況がある。こうしたことから、自転車の交通ルール・マナーの向上を図るため、交通安全教室の開催やルール・マナーアップの啓発等を積極的に行う必要がある。
次年度取組方針		利用年齢に応じた交通安全教育を推進するとともに、駐輪場利用者への啓発、街頭啓発キャンペーン、市広報紙などの情報提供ツールの活用を通じて、積極的に交通ルール・マナー遵守の徹底を図る。		
所管部長による総評		<ul style="list-style-type: none"> ・警察署や交通関係団体と連携しての自転車安全教室の開催により、交通安全教育を推進することは重要であり、今後も自転車のマナーアップやルールの啓発活動などに積極的に取り組んでいく。 ・自転車による重大事故の発生を背景に、自転車利用者に対する交通事故の危機意識の向上や交通ルール・マナーの徹底を啓発していく。 		